

## 積水樹脂グループの サステナビリティ

- 積水樹脂グループの理念・企業行動指針
- サステナビリティ方針・推進体制
- マテリアリティ(重要課題)と戦略
- 推進目標(KPI)と取り組み
- 中期経営計画
- ステークホルダーとのコミュニケーション

## 積水樹脂グループの経営理念

積水樹脂グループは、複合技術による価値ある製品の創造とサービスを通じて  
社会の安全・安心・環境に貢献する企業グループを目指します。

経営理念に立脚し、グループ役職員全員で共有する行動準則

## 積水樹脂グループ企業行動指針

### 1. 人権と多様性の尊重

- ① 国内・外を問わずすべての人々の人権を尊重し、平等・公平に行動します。
- ② 新たな価値創造にチャレンジできる組織風土づくり、多様性、個性を尊重する働き方を実現するとともに、生産性の向上と従業員の成長を図ります。
- ③ 健康と安全に配慮した働きやすい職場環境を確保します。

### 2. 社会的責任

- ① 安全・安心で社会的に有用な製品・サービスを提供するとともに、正しい製品情報を的確に提供することで、顧客の信頼と満足を獲得します。
- ② 公正かつ適正な取引関係の上にとり取引先との信頼関係を築き、相互の発展を図るとともに社会的信頼を高めます。
- ③ 企業情報を積極的かつ公正に開示することで、ステークホルダーの信頼を獲得し、企業価値の向上を図ります。

### 3. 環境・社会との調和

- ① 気候変動を含む環境問題への取り組みは企業の存在と活動に必須の要件であることを認識し、積極的に推進して社会への貢献を目指します。
- ② 生物多様性の保全と持続可能な利用に取り組みます。
- ③ 国内・外を問わずその文化や習慣を尊重し、地域社会との共生や社会貢献活動に取り組みます。

### 4. 法令等の遵守

- ① あらゆる企業活動において法令・社内ルールを遵守し、良識・社会規範に従って誠実に行動します。
- ② 個人情報や会社の機密情報を厳正に管理するとともに、情報セキュリティの維持・向上に取り組みます。
- ③ 政治・行政とは健全かつ透明な関係を維持します。

### 5. 危機管理の徹底

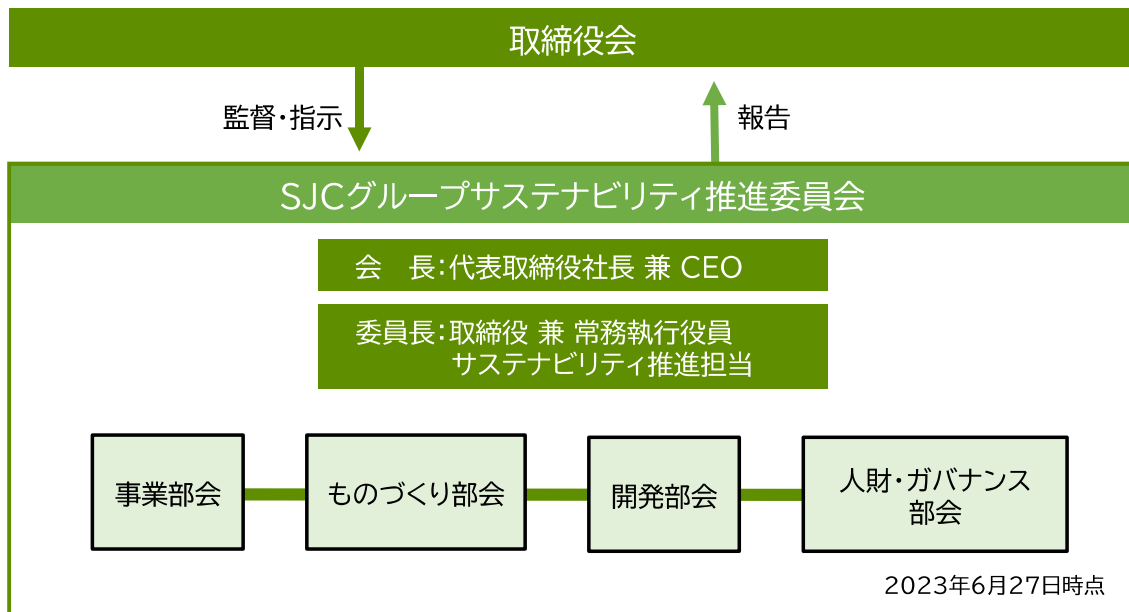
- ① 企業活動に影響する脅威が多様化・複雑化していることを認識し、組織的な危機管理と事業継続力の強化に取り組みます。
- ② 自然災害、感染症、サイバー攻撃などの緊急事態に充分備えるとともに、有事の際には人命・安全確保を第一に影響の最小化に取り組みます。
- ③ 社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体とは関係をもちません。

## SJCグループ サステナビリティ方針

積水樹脂グループは、経営理念として「複合技術による価値ある製品の創造とサービスを通じて社会の安全・安心・環境に貢献する企業グループを目指します。」と掲げています。この理念に基づき、健全で透明性の高い経営と、社会・環境に調和した事業活動を通じて、全てのステークホルダーの皆様の信頼を確かなものにするとともに、社会と当社グループの持続的な発展に繋がる重要課題を特定し、SDGsの達成を含め社会課題の解決を図ることで更なる企業価値の向上を目指します。

### 推進体制

「SJCグループサステナビリティ推進委員会」が中心となり、グループ全社で横断的にサステナブルな社会の実現に向けた取り組みを推進しています。



### 「SJCグループサステナビリティ推進委員会」委員長メッセージ



委員長  
佐々木 克嘉

サステナビリティの取り組みは、気候変動をはじめとする社会課題の解決に向けた活動としてグループ全体で取り組んでいます。

積水樹脂グループは、社会の安全・安心・環境に貢献できる事業を公共・民間分野で幅広く展開しており、従業員一人ひとりの取り組み結果が事業活動や新たな技術開発、製品・サービスを通じて、社会課題の解決に繋がると考えています。

「積水樹脂グループビジョン2030」の基本方針のひとつに、サステナビリティの推進を掲げ、「SJCグループサステナビリティ推進委員会」を基軸にサステナビリティ経営の戦略と経営基盤強化を図ります。

本委員会を通じてサステナビリティの取り組みを積極的に推進し、社会貢献と積水樹脂グループの企業価値向上を目指してまいります。

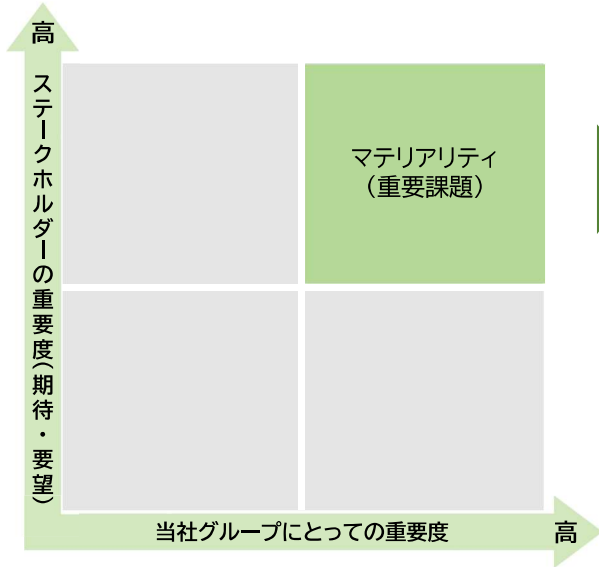
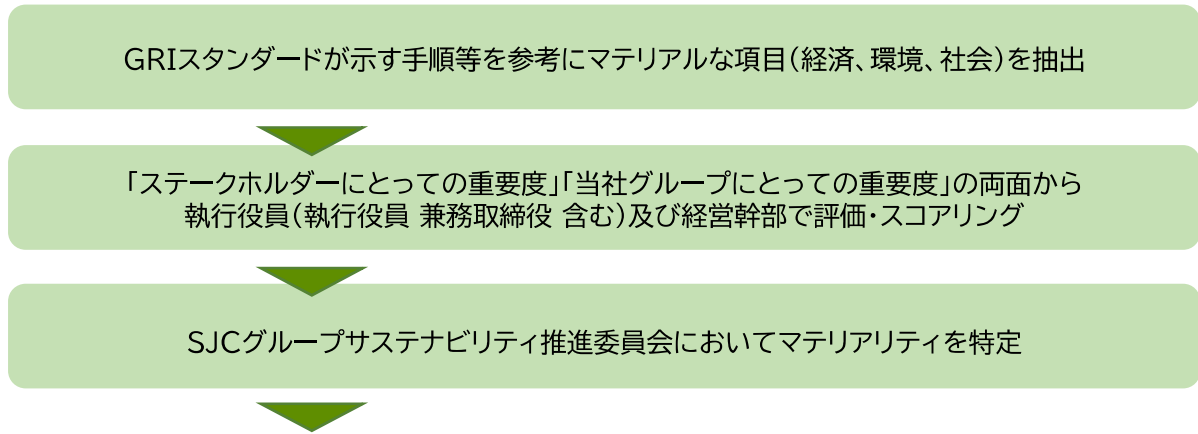
積水樹脂グループのマテリアリティ(重要課題)

積水樹脂グループは、「複合技術による価値ある製品の創造とサービスを通じて社会の安全・安心・環境に貢献する企業グループを目指します。」という経営理念を掲げ、日々変化する社会課題と向き合い、「持続可能な社会の実現」に向けた事業活動を長年にわたり取り組んできました。

これらの取り組みを継続し、発展させていくために当社グループにとっての重要課題(マテリアリティ)の特定を行い、これからも人々の暮らしに安全・安心と環境との調和を提供する事業活動を推進していきます。

～マテリアリティの特定から経営戦略への展開～

マテリアリティの特定プロセス



区分	マテリアリティ
事業	防災・減災、国土強靱化への貢献 道路交通災害・事故の撲滅 気候変動への適応・緩和 研究開発力の強化 事業領域の拡大 デジタルトランスフォーメーション(DX)活用
E	脱炭素への取り組み 循環型社会構築への貢献 脱プラスチック化の促進
S	ダイバーシティ&インクルージョンの推進 人財育成と教育機会の拡充
G	ガバナンス強化

マテリアリティと中期経営計画・長期ビジョンとの統合

特定したマテリアリティを中長経営計画と連動させ、事業戦略、サステナブル目標やマテリアリティに対する取り組み指標(KPI)を設定しました。

マテリアリティに対する取り組み指標(KPI)

積水樹脂グループでは、中長期の経営計画とマテリアリティに対する取り組みを一体としたマネジメントを行うため、長期ビジョンおよび中期経営計画で掲げるサステナブル目標と繋がる、以下の取り組み指標(KPI)を設定し、PDCAを回してESG経営を更に加速させていきます。

区分	マテリアリティ	実現する取り組み	指標	目標	達成年度	2022年度実績
事業	防災・減災、国土強靱化への貢献	道路のインフラ予防保全対策と自然災害における河川・水路、流域治水対策製品・サービスの強化	サステナビリティ貢献製品	売上高比50%	2023年	50.9%
		建築外構における地震・強風対策製品・サービスの強化		売上高比70%	2029年	
	道路交通災害・事故の撲滅	車の安全運転支援、歩行者・自転車向け安全対策製品・サービスの強化		EX登録累計件数15件	2023年	登録累計件数12件
	気候変動への適応・緩和	自然災害、異常気象のモニタリング製品・サービスの強化				
E	脱炭素への取り組み	生産設備のエネルギー効率向上	CO <sub>2</sub> 排出量	26%削減(2013年度比)	2023年	35.0%削減
		再生可能エネルギーの活用拡大		46%削減(2013年度比)	2029年	
	循環型社会構築への貢献	リデュース・リユース・リサイクルシステムの展開拡大	ワンウェイプラスチックの削減	25%削減(2021年度比)	2029年	8.0%削減
	脱プラスチック化の促進	バイオプラスチックの積極活用	サステナビリティ貢献製品	売上高比70%	2029年	50.9%
S	ダイバーシティ&インクルージョンの推進	多様な従業員が活躍できる組織・風土づくり	中核人財に占める女性・外国人・キャリア採用等の比率	30%	2029年	24.9%
G	ガバナンス強化	CGコードの各原則を踏まえた体制の充実	CGコード基準	同基準を満たす	-	1項目エクスペイン
		コンプライアンスの徹底	重大な法令違反	0件	-	0件
		製品品質及び安全管理の強化	重大製品事故 重大労働災害	0件 0件	-	0件 0件

## 中期経営計画2024(2022年3月期～2024年3月期)

期間 2022年3月期～2024年3月期(3カ年計画)  
キーワード 総合力・巻き込み力・スピード力

2022年3月期から、将来のあるべき姿を明示した「ビジョン」を目指し、これまでのCSVの活動領域をさらに広げ、着実な成長と未来に向けた基盤をグループ一丸となって作る、「中期経営計画2024」をスタートさせました。ESG(環境・社会・ガバナンス)経営を更に強化し、事業を通じたサステナブルな社会づくりに取り組んでいます。

### 基本戦略

#### 基盤事業の拡張

- ◇ 安全・安心・快適
- ◇ 防災・減災
- ◇ 環境

#### 未来に向けた新たな基盤づくり

- ◇ 製品とサービスのデジタル戦略
- ◇ 新事業戦略

#### 環境対策

- ◇ 社会課題の解決に向けた3R・環境負荷軽減戦略

### ターゲットとする重点8分野

01 交通安全	02 騒音低減	03 防災・減災	04 インフラメンテナンス
05 自動運転等次世代交通技術	06 現場の安全、省人・省力化	07 環境負荷軽減	08 新型コロナウイルス共存社会

### 経営基盤強化

① 脱炭素への取り組み強化

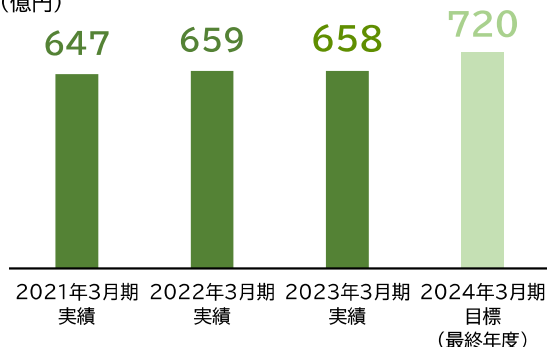
② 設備投資及び研究開発の更なる強化

③ グローバル展開強化

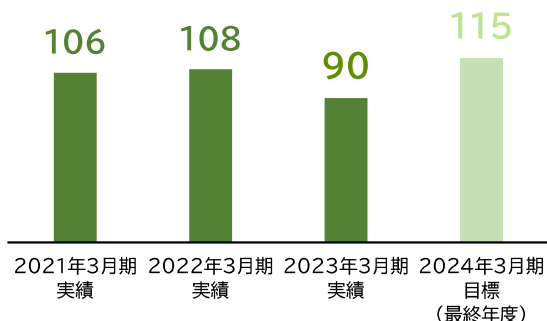
④ 基本戦略推進体制の強化

### 業績目標と進捗状況

連結売上高  
(億円)



連結営業利益  
(億円)



### 投資関連(3カ年合計目標:2022年3月期～2024年3月期)

設備投資	60億円
既存技術の強化、新技術構築への投資	20億円(外部機関との連携・アライアンス等)
M&A投資	50億円

ステークホルダーとのコミュニケーション

当社では、お客様をはじめとするステークホルダーの皆様との対話を通じ、お互いに信頼を築いていくことが重要であると考えています。お客様の声、株主・投資家との対話、従業員とのコミュニケーションなどを通じて、得られたご意見や評価等をもとに、取り組むべき課題の把握につとめています。また、株主・投資家情報および各種のニュースリリースを通じて、すべてのステークホルダーに対して適切なタイミングで十分な情報を開示することにつとめています。



ステークホルダー	コミュニケーション方法	説明
お客様・取引先	営業活動	お客様のニーズに合致する製品・サービスの提案
	ホームページ	製品情報などを随時掲載
	展示会への出展	国内外の展示会に積極的に参加
	取引先協力会	当社販売先・調達先の協力会社
株主・投資家	株主総会	毎年6月に株主総会を実施
	決算説明会	機関投資家向けに決算説明会を実施(年2回)
	ホームページ	財務情報だけでなく非財務情報についても広く掲載
	IRミーティング	機関投資家との個別面談を実施
従業員	社内報の発行	社内報「積樹」を定期的に発行
	社内親睦団体の活動	社内親睦団体「アドハヤ会」の活動
	イントラネット	社内における情報の発信・共有
地域社会	工場見学会 行事への参加	工場見学会・就業体験などを実施 地域のイベント、ボランティア活動に積極的に参加
外部団体	諸団体の活動への協賛	交通遺児育英会の活動支援、生物多様性の保全、社会課題解決を目指して連携

## ステークホルダーとのコミュニケーション

お客様をはじめとする様々なステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを積極的に行い信頼関係を築いています。

### 地域社会とのコミュニケーション

#### ■地域貢献/清掃活動

##### <滋賀工場>

- ・事業所周辺の清掃活動
- ・河川(善光寺川周辺)環境美化活動
- ・西の湖ヨシ刈り(ヨシでびわ湖を守るネットワーク)

##### <広島東城製造所>

- ・事業所周辺の清掃活動

##### <東北積水樹脂株式会社>

- ・事業所周辺の清掃活動

##### <日本ライナー(株)>

- ・事業所周辺の清掃活動



日本ライナー(株)清掃活動の様子

#### ■地域貢献/会社見学

##### <滋賀工場>

- ・滋賀県立八幡工業高等学校 インターンシップ受入
- ・竜王町立竜王中学校 就業体験実習受入
- ・竜王図書館観察会

##### <積水樹脂プラメタル(株)>

- ・両小野小学校3年生児童の会社見学



滋賀 竜王図書館観察会



両小野小学校3年生児童の会社見学

### 株主・投資家とのコミュニケーション

#### ■決算説明会の実施

当社は、機関投資家の皆様に対する決算説明会を年2回開催しています。代表取締役社長より、決算内容などについての説明を行い、機関投資家の皆様からは、当社グループの今後の事業展開について、たくさんのご質問をいただきました。



### お客様・取引先とのコミュニケーション

#### ■関西物流展への出展

第4回関西物流展に参加し、物流における『省力化・省人化』『安全・安心』『環境・3R』『物流DX』のソリューション提案製品を出展しました。



## TOPICS

### ソーシャルメディア「note」始めました！

当社や当社の製品、技術に興味を持っていただいている方はもちろん、グループで働く従業員の皆さんにも当社グループのありのままの姿や進化する姿をもっと知ってもらいたいという思いから積水樹脂グループ公式「note」を開始しました。「note」では製品の背景にある技術的な面やよりよい都市、道路、暮らしのために当社メンバーが考えていること、悩んでいる姿をお伝えしていきます。また当社がチャレンジする様々な取り組みや環境、社会貢献の姿などもご紹介していきます。



積水樹脂グループ公式「note」:  
[https://note.com/sekisui\\_jushi](https://note.com/sekisui_jushi)